

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 40

冬号

平成 26 年
(2014)

環境ひらかた



ひらかたエコフォーラム²⁰¹⁴

多発する自然災害 あなたはどうか考えますか！

近年、日本を含め世界中で甚大な被害をもたらす自然災害が多発しています。私たちの住む枚方でも経験したことのないような被害が起きています。この自然災害をあなたはどうか考えますか？また、いざという時の備えはできていますか。

今年も2月1日（土）に、「ひらかたエコフォーラム」をメセナひらかた会館で開催します。毎年開催していますが、今年のメインは午後に行う「多発する自然災害にどう備えるか」をテーマにしたパネルディスカッションです。自然災害に備えるのはもちろん、そもそも災害が起こりにくい社会、環境をどう作り上げていくのか、環境問題と自然災害について皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。その他、恒例となったクイズ大会や、ブースラリーなど、楽しい内容がいっぱいのイベントです。是非ご参加ください。

（詳しくは、同封、もしくは各公共施設設置のチラシをご覧ください。）

2面に続く



◆◆◆◆◆2階多目的ホール・ロビーにて◆◆◆◆◆

◆ブース展示

企業や団体の環境への取り組みや活動の展示

◆ブースラリー

ブースラリーで枚方名産品無料試食券がもらえます。試食コーナーで試食できます

◆「省エネナビ」の貸出

電気使用量が一目でわかる「省エネナビ」の無料貸出

◆クラフト教室（無料）

里山の間伐材を使ったクラフト体験ができます

*****目次*****

2014 エコフォーラム	P 1
2013 節電コンテスト	P 2・3
部会紹介	P 4・5
お知らせ	P 6
環境トピックス VOL. 6	P 7
それゆけ！エコ企業「青桐保育園」	P 8

ひらかたエコフォーラム

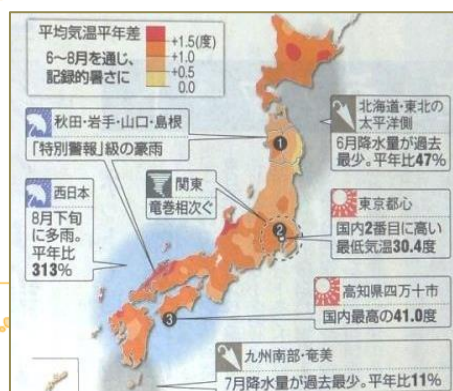
自然災害と温暖化

2013 年夏、日本や世界で異常気象と言える現象が多くみられ、それにより大きな被害ももたらされました。IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)が、2007 年の第 4 次報告書で、過去 50 年の観測から地球の変化を「暑い日や熱波の頻度が増加している」「大雨の頻度が増加している」と指摘しました。今起きている現象は、まさにこの分析の延長線上にあるのではないのでしょうか。

“温暖化が起こっている”ということについては、意見がいろいろと分かれるところですが、二酸化炭素に温室効果があるということについては、皆が認めるところです。その二酸化炭素濃度が、産業革命以降、確実に、急速な速さで、増加しているのも事実です。温暖化と前述の異常気象の関係についても、いろいろと意見は分かれるところですが、異常気象により自然災害が起きているという事実がある中、エコフォーラム 2014 の午後のパネルディスカッションで一緒に考えましょう



写真は昨年の様子



出典：朝日新聞 9月17日朝刊

「この夏日本と世界で起きた異常気象」

◆ひらかたエコチェック DAY 協賛・協力団体一覧◆

【協賛企業・団体】

大阪ガス(株)、恩地食品(株)、関西リサイクルシステムズ(株)、京都信用金庫、呼人堂、(株)小松製作所大阪工場、全労済共済ショップ枚方、(株)たまゆら、(株)ニューコマンダーホテル、農園 杉・五兵衛、(株)ホワイトマックス、(一般社団法人)ホワイトネット未来号

【協力団体】

(枚方市地球温暖化対策協議会)

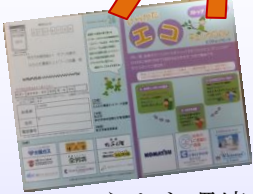
関西電力株式会社、京セラドキュメントソリューションズ(株)枚方工場、(株)くらこん、京阪電気鉄道(株)、京阪バス(株)、(株)京阪流通システムズ (KUZUHA MALL)、(株)京阪レジャーサービス、(株)サンエスモータース、(株)島川製作所、生活協同組合おおさかパルコープ、タイロン(株)、司電機産業(株)、戸田自動車、(株)西川造園、日本珪砂(株)、日本電音(株)、ネットヨタ新大阪(株)、保証運輸(株)、(株)ヤマジ、理研ビタミン(株)大阪工場、(株)りそな銀行大阪公務部

(保育園・保育所)

愛和保育園、青桐保育園、宇山光の子保育園、小倉保育園、川越保育園、ギンガ保育園、くずはあけぼの保育園、くずは光の子保育園、香里ヶ丘保育園、蹉跎保育園、親愛保育園、第二徳風保育園、第2長尾保育園、津田保育園、常称寺保育園、茄子作保育所、光の峰保育園、枚方たんぽぽ保育園、船橋保育園、三矢ゆりかご保育園、明善第式保育園、明善保育園、村野保育園

ライフスタイルを見直そう！

ひらかたエコチェックDAY



ひらかた環境ネットワーク会議が、枚方市と枚方市地球温暖化対策協議会との共催で、枚方市教育委員会の後援を受け実施している「ひらかたエコチェック DAY」！年に一度、エコチェックシートでライフスタイルをチェックするこの取り組みは、5回目の今回、最終回を迎えました。毎年12月第2日曜日を“エコチェック DAY”とし、11月1日からスタート。日常生活を“エコチェックシート”で振り返り、チェックをすることで、日頃何気なくしていることが、温暖化の一つである二酸化炭素の発生源になっていることに気付いてもらえたと思います。普段の暮らしの中で地球温暖化対策としてできることや、日常行動で改善できること、考えなければいけない事等々、沢山あります。「来年度からは、ひらかたエコチェック DAY」に代わり、「我が家のエコノート」がスタートします。



12月8日のエコチェックDAYの様子



夏の節電コンテスト 結果報告は春号で

今年度も夏の電気使用量の削減に向けた頑張りを競う「2013年ひらかた夏の節電コンテスト」を実施しました。残念ながら今回は106名の応募にとどまりました。応募者数が少なかった背景には、「削減できていなくても節電を心掛けた人」を対象としているという趣旨がうまく伝わっていなかったため、削減できなかった人の応募が皆無に等しく、できた人の応募がほとんどでした。

「この夏も節電を意識した暮らしができた」、「削減成功した」、「節電はちょっとした意識で効果が表れる」との声が多く、【実際に取り組んだこと、工夫したこと】【節電のアイデア】の記述欄に記載された実践事例や感想からは、取り組みに対する熱い思いがひしひしと伝わってきました。

ちょっと意識するだけで消費電力は確実に無理なく減らせます。継続して取り組んでいきたいものです。（昨年度は257名でした）

（幼稚園・小学校・中学校）

香里幼稚園、春日丘幼稚園、樟葉南幼稚園、樟葉幼稚園、慶応学園幼稚園、高陵幼稚園、桜丘幼稚園、蹉跎西幼稚園、蹉跎幼稚園、田口山幼稚園、津田幼稚園、殿山第二幼稚園、枚方幼稚園、市内全小学校（3校を除く）、市内全中学校（1校を除く）

（高校・大学）

なぎさ高等学校、関西外国語大学、摂南大学

（地域）

朝日住区、北船橋町、協和会、くずはセンチュリータウン住民の会、くずはタワーシティ、楠葉台、楠葉並木、咲が丘、新船橋本町、たむらゆうゆう会、西船橋、花園南連絡協議会、樋の上町、樋之上住宅、船橋二宮、船橋本町1丁目、船橋本町2丁目、メゾン枚方、美咲1丁目、美咲2丁目、美咲3丁目、面取1丁目

（その他団体・企業）

自然観察会、北大阪商工会議所、三和レジン工業㈱、（特活）森林ボランティア竹取物語の会、ソロプチミスト・枚方・中央、尊延寺の自然を守る会、NACS-J自然観察、枚方・LRT推進会、枚方いきもの調査会、枚方エコサイクル、枚方市消費生活センター、ひらかた自助具公房、枚方食品公害と健康を考える会、枚方自然農法塾、（特活）ひらかた市民活動支援センター、一般社団法人枚方青年会議所、枚方宿くらわんか五六市



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育サポート部会

子どもたちのへえ！ 真実は見える事だけ？見えないところにも真実が！

S-EMS(*1)支援での学校園訪問は2013年4月に7年を迎え、3巡目の支援訪問に入りました。

学校園を訪問した際、子ども達に環境について話をする中で、水の大切さに関連して、水道の水はどこから来るのか、使用した水はどこに行くのかが話題になることがあります。淀川から磯島取水場を経て中宮浄水場に行き、そこから直接学校に来るのではなく、田口山配水場に一旦送られ学校へ給水されることや、使用済みの下水は渚水みらいセンターで処理され、淀川に直接流されるのではなく、寝屋川市の石津ポンプ場へ送水され寝屋川へ放流されていることなどを説明すると驚きます。この驚きは、目に見えることからの直感と、目に見えない事実との差異に起因するのでしょう。

環境教育は、普段の生活の中の目に見えることだけでなく、時には目に見えないことや、気がつかないことに、気づき知るという機会を提供することが必要だと実感しています。

*1『枚方市環境教育・環境教育推進指針』をもとにできた学校版環境マネージメントシステムの略

公共交通部会



“第16回バスのってスタンプラリー” 『なぞのコバを探せ!』

10/19

回を重ね、バス利用促進イベントとして、枚方にすっかり定着してきた感のある「バス!のってスタンプラリー」も16回目迎えました。当日はあいにくの小雨模様でしたが家族連れや、友達同士など164名の参加がありました。受付で資料とお茶、そして協賛いただいているグリコからの、今回の提供品「ビスコ5年保存缶」を手にスタートしました。

今回は枚方・交野両市にまたがって実施しました。内容は昨年好評だった『なぞのコバを探せ!』ということで、枚方、交野の名所を巡り、各スタンプポイントで集めた文字を使って、都道府県名や大阪府下の市町村名を作ってゴールするというものです。15個以上作れた人には『黄金の名探偵』の認定証を授与しました。アンケートではほとんどの人が「面白かった」「もっと公共交通を利用したい」と答え「子と共にバスの乗り方やマナーを教えるいい機会になった」「普段行かないところへも行けた」「こんなバス路線もあったのかと再発見」と一日楽しめた感想を寄せていました。



参加者は、岡東町公園に集まり、竹内市長のあいさつ、「バスとまちのおはなし」を聞いてスタートしました



ポイント地点で、なぞの言葉をゲット!さあ、次の所へ



自然エネルギー部会

自然エネルギー「知り知らせる」から いかに普及率を上げるかに！

自然エネルギーの普及啓発、及び利用促進のため「知り知らせる」ことを目的に、平成 17 年から 8 年にわたり自然エネルギー学校を実施してきました。自然エネルギー学校は部会にとってのメイン事業であるとともに、環境ネットワーク会議にとっても“くらわんか塾”“環境活動スターター講座”と並ぶ 3 本柱の一つの「環境講座」です。その大事な事業が今転換期を迎えようとしています。講座がスタートしたころ、世の中では、まだまだ自然エネルギーに対する理解も薄く、エネルギー問題についても今ほど高い関心は寄せられていませんでした。現在、エネルギー問題は多くの国民にとって大きな関心事であり、原発に頼らずに済むならそれに越したことはないとの思いを持つ人が多くを占めるまでになりました。しかしその一方で、日本における自然エネルギーの普及率とは言えば、ドイツやイギリスのそれと比較すれば歴然、低い割合にとどまっているのが実態です。このような状況の中、自然エネルギーについて「知り知らせる」ことを目的にした内容では、現状に即さないのではないかと考えも出てきています。いかに普及率を上げるか！このことにポイントを置き、新たな内容の講座を模索していきたいと思っています。



2005 年 →→→ 2013 年

まちづくり部会



「タイムスリップ探偵」 枚方宿場町街道に現る!!

まちづくり部会の活動のひとつに、街並み保存推進事業があります。市民や他地域からの来訪者に、枚方の文化・歴史に興味をもってもらい景観保護の様子を実感してもらうことで、文化・史跡を継承していこうという活動です。この活動の一環として、第三回目のフォトラリー

「タイムスリップ探偵」—ここはどこ?—を 11 月 10 日、五六市で賑わう街道で開催しました。

当日はあいにく雨が降ったり止んだりのお天気でしたが、多くの来訪者が古い写真を片手に、「タイムスリップ探偵」として街道筋を探索して回りました。



菊で彩られた宿場町の雰囲気満点の街道を、家族連れが相談しながら楽しそうにチェックポイントを探す姿が、大変印象的でした。抽選会も大人気のうちに終わることができました。またボランティアガイドさんの案内で「宿場町を知るツアー」も開催しました。参加者には「いつも来ている宿場町に色々な歴史があることを知り、より愛着がわきました」「ガイドさんがとても親切でした」と、大変好評でした。



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

まちづくり部会で、住みたいまちづくりを考え、一緒に活動しませんか

5 ページに活動報告を掲載している「まちづくり部会」はこの他にも広く文化・史跡を知ってもらう為の活動（歴史ウォーキング）を進めています。また、まち美化活動も定期的に続けています。あなたも環境ネットワーク会議に参加して一緒に「住みたい、住み続けたいまちひらかた」をめざしませんか。

問い合わせは環境ネットワーク会議事務局まで

◆◆◆エコキャップ・プルタブの回収報告とお願い◆◆◆

当団体では、エコキャップ・プルタブの回収に取り組んでおられる市民の方や、学校、事業者、団体等への支援として『エコキャップ・プルタブ回収中継スポット』の役割を担う事で、共に環境の取り組みを進めています。中でも、エコキャップの回収に取り組んでおられる団体やグループは大変多く、沢山持ち込まれます。学校や、事業所によっては回収に来てほしいとの依頼もあり、こうした依頼にも応えているのですが、事務所に集められたこれらの整理、発送準備作業は大変です。というのも、回収品の中には様々な異物が混入しているからです。プルタブとエコキャップが一緒に入っているなどということは勿論、紙くずなどのごみや、乾電池、石、おもちゃ、ビン、アルミのスクリュウ蓋、ビンの鉄蓋等、挙げていけばきりがありませんが、これらを取り除かないといけないのです。現在これらの作業は、事務局と“環境情報コーナーの当番さん”の手によって行っています。そうして“エコキャップだけ”の状態にして、回収を待つわけですが、協会の提携事業者からの回収はいつになるかわからず、回収スペースがパンクしてしまうため、協会の提携処理工場への持ち込みも行っているのです。

(今回は11/12、12/17に持込みしました)

そこで、皆さんに下記のご協力をお願いします。

- 1、エコキャップは洗って“エコキャップだけ”の状態にして出して下さい
- 2、エコキャップの分別・梱包作業のお手伝いに事務所にお越しく下さい
- 3、軽トラを運転できる方は搬入・搬出作業にご協力ください

あなたも“ちょいボラ”
(ちょっとだけでも参加するボランティア)しませんか？



◆◆◆エコキャップ・プルタブの回収報告◆◆◆

お手伝いいただきました大勢の皆様、ご協力ありがとうございました。



●エコキャップ 11・12 月発送分

408,500 個

累計 924,922 個

CO2 累計 6,904,3 kg

ポリオワクチン 1,095,9 人

●プルタブ 12 月 2 日発送分

25.8kg

※エコキャップは、ポリオワクチンの購入資金として、プルタブは車いすの材料として寄付されます

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「大型化する台風」「日本海沖で見つかったハイドロメタンガス」です。

◆ 大型化する台風

フィリピンを直撃した台風は記憶に新しいと思います。その強さは上陸したものとして史上最強だという事でした。日本でも大型台風が発生し各地で大きな被害を受けました。台風の巨大化は海水温度の上昇が原因の一つと言われています。

日本に来る台風の多くは、南シナ海付近で生まれます。赤道付近で熱せられた海水が蒸発し、積乱雲となり、蒸発と共に熱が放出され、そこに冷たい空気と入れ替わろうと北上し日本に近づいてくるのです。しかし、日本近海の海水温度も高いことから、水蒸気が供給し続けられ、勢力が衰えないまま上陸となるのです。

また、日本近海の海水温度が高いということは、台風の発生場所も日本の近くでということになりますが、実際、日本近海で発生する台風も見られているのです。

◆ 日本海沖で見つかったハイドロメタンガス

経済産業省は 2013 年 11 月 29 日、次世代エネルギー資源「メタンハイドレート」について、日本海の新潟県上越沖の海底で確認したと発表しました。発表によると、存在が見込まれる有望な地形 225 ケ所について、無人機を使い撮影をしたところ、白いメタンハイドレートの一部がむき出しになっているのが確認され、来年度以降に埋蔵量を把握するための詳細調査を進めるとのことです。メタンハイドレートは天然ガスの主成分であるメタンが氷状となったもので「燃える氷」とも表現されています。日本近海には、国内の天然ガス消費量の 100 年分に相当する埋蔵量があるとされ、資源の少ない日本にとっては、貴重な国産エネルギー資源になる可能性があります。今回確認したと発表されたものは、水深 500 メートル以上の海底の表面に露出し、塊の状態で存在しているとのこと。

安倍政権も 2013 年 4 月「2018 年度をめどに、メタンハイドレートの商業化を目指す」とする海洋基本計画を閣議決定しています。更に、メタンハイドレート関連事業をアベノミクスの成長戦略における柱とすることも併せて発表しており、メタンハイドレートの実用化が現実味を帯びてきました。しかし、それには問題がいろいろあります。

主成分であるメタンが CO₂ の 20 倍の温室効果があるとされ、採掘に伴って大量のメタンガスが大気中にいけば地球温暖化を招くという問題。メタンハイドレートは海底の地層の中に存在するため、そこから採掘することによって地盤沈下を引き起こしたり、最悪の場合は巨大地震を誘発する危険性があるという問題です。

その他、領土問題などもあり、これらをどう克服するかが今後の課題と言えそうです。



それゆけエコ企業!!

地球温暖化防止に積極的に取り組んでおられる元気な事業者や団体さんを紹介するコーナーです。今回は「青桐保育園」さんです!

自然に関わり豊かな心を育む、環境に配慮した園運営



木のぬくもりを感じる室内、遊具



木でつくられた下駄箱



ツリーハウス
そらとぶふね♪

穂谷の間伐材を使ったツリーハウスがあると聞き、交北にある青桐保育園を訪ねました。百聞は一見に如かず、園内を見学させていただきますと、木目も新しい下駄箱や遊具で溢れていました。中でも目を惹いたのが“そらとぶふね”と名付けられたツリーハウスでした。これらは全て穂谷の里山の間伐材を使って作られたと聞き、さらに驚きました。これらの事からお話をお聞きするまでもなく、園の保育方針が覗えるというものです。

レイチェルカーソンの著書「The Sense of Wonder」に“「知る」ことは「感じる」事の半分も重要ではありません。子どもたちが会える事実の一つ一つがやがて知識や知恵を生み出す種子だとしたら、様々な情緒や豊かな感受性は、この種子を育む肥沃な土壌です。幼い子供時代はこの土壌を耕す時です。”と書かれていると園長先生にお聞きしましたが、まさにこの精神に則って園を運営しておられるのです。ここで育った子供たちは、将来自ずと、地球とそして地球上の生あるものと共存できる社会行動が取れる大人になることと思いました。理念を形にしてこられた園長先生に脱帽! 今回も、希望、元気をもらい

園を後にしました。



社会福祉法人交北会 青桐保育園

住所 枚方市交北 4 丁目 1247-1

TEL.072-855-3916

ひとこと

今回の冬号 6 面の「エコキャップ・プルタブの回収についてのお願い」記事に関連するのですが、事務所にうず高く積まれているエコキャップを見ていると、何と多くのペットボトルが消費されているのかと驚きます。環境ネットワーク会議に集められたものだけでこんなにあるのだから、これが全国でとなると、気が遠くなるような量です。安易にペットボトル飲料を利用する人がいる一方で、何か環境の為にしたいと思っている人も沢山いるのだとも感じさせられます。

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第40号

平成 26 年 1 月 1 日発行 (年 4 回発行)

発行: (特活) ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号

サブリ村野内 (旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

E メール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kannkyou.net>

発行責任者: 伊丹 均 編集責任者: 丸井 晶子